



トンボの保護活動について説明を受ける海外の研究者ら
＝磐田市岩井の桶ヶ谷沼ビジターセンター

海外トンボ研究者訪問

磐田 桶ヶ谷沼 保護活動の状況確認

7月28日～8月2日
に神奈川県内で行われ
た「国際トンボ学会議」
に出席したイギリス

やフランス、台湾など
海外のトンボ研究者
15人が5日、トンボの
保護活動で先進的な
取り組みを行っている
磐田市の桶ヶ谷沼を訪
れた。

桶ヶ谷沼は絶滅危惧
種に指定されているベ
ッコウトンボの生息
地。同沼ビジターセン
ターの担当者から沼に
生息するトンボの種類
や市民によるベッコウ
トンボの繁殖活動につ
いて説明を受けた。こ
の後、アメリカザリガ
ニからヤゴを守るため
に設置された繁殖用の
いけすを見て回り、保

- ① 磐田市の桶ヶ谷沼を訪れた海外のトンボ研究者は、何人ですか。
- ② 桶ヶ谷沼に生息している、絶滅危惧種に指定されている生き物は何ですか。
- ③ 桶ヶ谷沼で行っている保護活動を調べてみましょう。

ぜつめつ きぐしゆ
絶滅危惧種とは

絶滅のおそれのある生き物のこと

護活動の状況を確認し
た。
ドイツの研究者(53)
は(磐田市と同様に)
ドイツでも外来生物の
影響でトンボの数が減
っている。連携して保
護研究を進めたい」と
話した。
一行はこのほか、長
野県や山梨県のトンボ
の生息地も訪ねた。

2012年8月6日朝刊 西部版

年 組 名前

(小学校高学年 理科)